

第 497 回 国立大学法人信州大学役員会 議事要録(案)

日 時 令和 2 年 4 月 15 日 (水) 9 時 35 分～10 時 05 分

場 所 本部管理棟 5 階 第一会議室

出席者 濱田学長(議長), 平野, 武田, 中村, 川真田, 小宮山, 浜野 各理事
オブザーバー 徳井, 渡邊, 市川, 田中, 半田, 樋口 各副学長
太田, 岩井 各監事

第 496 回議事要録確認

議 題

1 第 3 期中期目標期間の国立大学法人評価にかかる研究業績説明書について

市川副学長から, 資料 No. 1 に基づき, 第 3 期中期目標期間の各学部・研究科等の教育研究評価にあたり作成する研究業績説明書について説明があった。

続いて, 議長からこのことについて諮られ, 審議の結果, 第 3 期中期目標期間の国立大学法人評価にかかる研究業績説明書について, 原案のとおり承認され, 本日開催の教育研究評議会に付議する旨の発言があった。

2 令和 2 年度卓越大学院プログラムについて

武田理事から, 資料 No. 2 に基づき, 本学が申請中の卓越大学院プログラム「ファイバーサイエンスの社会実装を牽引する卓越人材育成プログラム」について, 公募要領に定める「当該プログラムが採択された場合にこれを確実に実施することを証する文書」について説明があった。

続いて, 議長からこのことについて諮られ, 審議の結果, 本学が申請中の卓越大学院プログラムファイバーサイエンスの社会実装を牽引する卓越人材育成プログラムについて, 同プログラムの公募要領に定められた「当該プログラムが採択された場合にこれを確実に実施することを証する文書」に関し, 以下のとおり確認した。

「ファイバーサイエンスの社会実装を牽引する卓越人材育成プログラムについて, 当該プログラムが採択された際には, 信州大学大学院総合理工学研究科繊維学専攻, 理学専攻, 工学専攻, 農学専攻及び生命医工学専攻並びに信州大学大学院総合医理工学研究科総合理工学専攻, 生命医工学専攻生命工学分野 3 年制コース及び生命医工学専攻生体医工学分野 3 年制コース並びに福井大学大学院工学研究科産業創成工学専攻繊維先端工学コース及び総合創成工学専攻繊維先端工学分野並びに京都工芸繊維大学大学院博士前期課程工芸科学研究科応用生物学専攻, 材料創製化学専攻, 材料制御化学専攻, 物質合成化学専攻, 機能物質化学専攻, 電子システム工学専攻, 情報工学専攻, 機械物理学専攻, 機械設計学専攻, 建築学専攻, デザイン学専攻, 先端ファイブロ科学専攻及びバイオベースマテリアル学専攻並びに京都工芸繊維大学大学院博士後期課程バイオテクノロジー専攻, 物質・材料化学専攻, 電子システム工学専攻, 設計工学専攻, 建築学専攻, デザイン学専攻, 先端ファイブロ科学専攻及びバイオベースマテリアル学専攻の参画の下, 福井大学, 京都工芸繊維大学, アサダメッシュ株式会社, 旭化成株式会社, 株式会社クラレ, 大和紡績株式会社, 帝人株式会社, 東洋紡株式会社, 東レ株式会社, 日華化学株式会社, 三菱ケミカル株式会社, 株式会社ミマキエンジニアリング, ユニチカ株式会社, ノースカロライナ州立大学, マンチェスター大学, リーズ大学, 香港理工大学及び国立繊維工芸工業高等学院(ENSAIT)と連携して, 調書に記載の事項について確実に実施する。」

3 筑波大学卓越大学院プログラムへの参画について

武田理事から, 資料 No. 3 に基づき, 筑波大学が申請中の卓越大学院プログラムに本学教員が参画するため, 公募要領に定める「当該プログラムが採択された場合にこれを確実に実施することを証する文書」

について説明があった。

続いて、議長からこのことについて諮られ、審議の結果、筑波大学が申請中の卓越大学院プログラム「自然と人が共存する持続的社會を牽引する国際人材育成プログラム」について、同プログラムの公募要領に定められた「当該プログラムが採択された場合にこれを確実に実施することを証する文書」に関し、以下のとおり確認した。

「筑波大学が申請中の自然と人が共存する持続的社會を牽引する国際人材育成プログラムについて、当該プログラムが採択された際には、信州大学として、筑波大学大学院理工情報生命学術院生命地球科学研究群、システム情報工学研究群、及び人間総合科学学術院人間総合化学研究群の主体のもと、静岡大学、山梨大学、琉球大学、東京農工大学、Plymouth University, School of Marine Science and Engineering (英国)、国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所、国立研究開発法人国際農林水産業研究センター、国立研究開発法人海洋研究開発機構、国立研究開発法人国立環境研究所、外務省、国連大学サステナビリティ高等研究所、及び大学共同利用機関法人人間文化研究機構総合地球環境学研究所と連携して、調書に記載の事項について確実に実施する。」

報告事項

- 1 電子ジャーナル等あり方検討部会の報告について
渡邊副学長から、資料 No. 4-1 及び 4-2 に基づき、電子ジャーナル等あり方検討部会(2019 年度)の活動報告についての報告及び提言があった。
- 2 病院業務監督委員会の報告について
議長から、資料 No. 5 に基づき、3 月 30 日に開催された第 10 回病院業務監督委員会について報告があった。
- 3 先鋭領域融合研究群運営委員会の報告について
中村理事から、資料 No. 6 に基づき、3 月 11 日(水)に開催された第 15 回、及び 3 月 25 日(水)から 3 月 27 日(金)にメール審議で開催された第 16 回先鋭領域融合研究群運営委員会について報告があった。
- 4 学術研究・産学官連携推進機構運営会議の報告について
中村理事から、資料 No. 7 に基づき、3 月 16 日(月)に開催された第 87 回、3 月 30 日(月)に開催された第 88 回、及び 4 月 6 日(月)に開催された第 89 回学術研究・産学官連携推進機構運営会議について報告があった。

次回開催予定：令和 2 年 5 月 20 日(水)

以上